

2025年度

# 授 業 計 画

3 学年

(歯科衛生士科 I 部)



日本ウェルネス歯科衛生専門学校

# 目 次

歯科予防処置Ⅴ .....	1
歯科保健指導Ⅳ .....	2
歯科保健指導Ⅴ .....	3
歯科診療補助Ⅴ .....	4
臨床・臨地実習Ⅱ .....	5
総合演習 .....	6

■科 目 歯科予防処置Ⅴ		■講師名 渡辺 節子	
I 部 3 学年	通年	1 5 コマ (1 コマ 90 分授業)	総時間 30 時間 演習 1 単位
<b>■学修概要</b> 歯科疾患の予防や口腔管理に対する知識や技術、更に臨床実習での症例を通してより深く学び、学術及び臨床を総括する。			
<b>■授業目的、到達目標</b> 歯科予防処置論の総仕上げを目的とする。			
<b>■授業方法</b> 講義			
<b>■教科書（書籍名・出版社）</b> 歯科衛生学シリーズ／歯科予防処置論・歯科保健指導論 医歯薬出版			
<b>■成績評価・講義上の注意</b> 定期試験、小テスト、課題、授業態度、出席状況により総合的に評価する。			
<b>■実務経験</b> 歯科医院で歯周疾患を中心とする予防歯科と長きに渡り携わる。その実績を反映し臨床経験に基づき幅広い視点から歯科予防処置の知識、技術を学ぶ機会を提供したいと考えている。			
<b>■授業計画（講義の流れ）</b>			
1	手用スケーラーの操作 1 / シャープニング 1		
2	手用スケーラーの操作 2 (復習実習) / シャープニング 2 (復習実習)		
3	歯科疾患の予防・歯科予防処置の基礎知識 1 (歯周組織 / 付着物・沈着物)		
4	歯科疾患の予防・歯科予防処置の基礎知識 2 (歯肉炎と歯周炎の特徴)		
5	歯科疾患の予防・歯科予防処置の基礎知識 3 (歯石・歯根面の診査)		
6	手用スケーラー 3 (種類・ポジション)		
7	超音波スケーラー・エアスケーラー 1		
8	超音波スケーラー・エアスケーラー 2		
9	歯面研磨・歯面清掃 (PTC) 1		
10	歯面研磨・歯面清掃 (PTC) 2		
11	シャープニング 3		
12	シャープニング 4		
13	練習問題		
14	解答・解説		
15	定期試験、解答解説		

■科 目		歯科保健指導Ⅳ		■講師名		三門 佳子	
I 部 3 学年		前期	1 5 コマ (1 コマ 90 分授業)	総時間 30 時間		演習 1 単位	
<b>■学修概要</b> 1 年次、2 年次の復習と、臨床実習からの学びをもとに、国家試験に対応できる知識と臨床に活かせる技術を体得する。							
<b>■授業目的、到達目標</b> 歯科保健指導論の総仕上げを目的とする。							
<b>■授業方法</b> 講義、小テスト							
<b>■教科書（書籍名・出版社）</b> 最新歯科衛生士教本／歯科予防処置論・歯科保健指導論 第 2 版 医歯薬出版 最新歯科衛生士教本／保健生態学 第 2 版 医歯薬出版							
<b>■成績評価・講義上の注意</b> 総合評価（出席、授業態度、小テスト等提出物、定期試験 等）							
<b>■実務経験</b> 総合病院歯科口腔外科・訪問歯科で得た経験から、臨床における歯科保健指導への活用を伝授したい。							
<b>■授業計画（講義の流れ）</b>							
1	歯科保健指導 概論、健康教育						
2							
3	情報処理、歯科衛生過程						
4	用具別 口腔清掃方法、ブラッシング法						
5							
6	染め出し、INDEX						
7							
8	栄養指導						
9							
10	ライフステージにおける歯科衛生介入						
11							
12							
13							
14	まとめ						
15	定期試験、解答解説						

■科 目		歯科保健指導Ⅴ		■講師名		渡辺 節子	
Ⅰ部3学年		前期	15コマ（1コマ90分授業）	総時間 30 時間		実習 1 単位	
■学修概要							
1 年次、2 年次の演習と、臨床実習からの学びのもと、国家試験に対応できる知識と臨床に活かせる技術を体得する。							
■授業目的、到達目標							
歯科保健指導及び歯科衛生教育の基礎的技法を修得し、臨床および公衆衛生または年齢対象別にさまざまな状況に十分対応し得る能力を培い、実践できるようにする。							
■授業方法							
講義、グループワーク、グループディスカッション、発表							
■教科書（書籍名・出版社）							
歯科衛生学シリーズ／歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 医歯薬出版							
■成績評価・講義上の注意							
グループワーク、グループディスカッション：グループとしての行動の内容、協力度、達成度 発表：準医療従事者としての身だしなみや態度、発表の技術、発声 レポート等の提出物：提出期限、与えられた課題に対する内容、自学自習のクオリティを総合して評価する。							
■実務経験							
歯科医院で長きに渡り予防歯科に携わる。その実績を反映し臨床経験に基づいた幅広い視点から歯科保健指導の知識、技術を学ぶ機会を提供したいと考えている。							
■授業計画（講義の流れ）							
1	小学校歯科保健指導 文部科学省 学校歯科保健の方針に基づいた指導案作成						
2	（グループディスカッションとグループワークを主体とする）						
3	小学校歯科保健指導 指導案作成① 台本作成① 媒体作成①						
4	小学校歯科保健指導 指導案作成② 台本作成② 媒体作成② 発表練習①						
5	小学校歯科保健指導 発表① 各グループへのフィードバック						
6	小学校歯科保健指導 改善点の修正①						
7	小学校歯科保健指導 発表② 各グループへのフィードバック						
8	小学校歯科保健指導 改善点の修正②						
9	小学校歯科保健指導 滅菌物、備品等の持ち出し準備と使用手順の確認						
10	小学校歯科保健指導 発表③ 備品等の使用手順を踏まえた上での発表練習②						
11	小学校歯科保健指導 発表④ 改善点の修正③						
12	小学校歯科保健指導 最終リハーサル 1（中幡小）						
13	小学校歯科保健指導 発表⑤ 改善点の修正④						
14	小学校歯科保健指導 最終リハーサル 2（豊明小）						
15	小学校歯科保健指導 発表の振り返り						

■科 目		歯科診療補助Ⅴ		■講師名		渡辺 あゆみ	
Ⅰ部3学年		前期 15コマ（1コマ90分授業）		総時間 30時間		演習 1単位	
■学修概要							
専門的な歯科診療補助について、実習や座学など今まで積み重ねた知識を踏まえ、より深く学ぶ							
■授業目的、到達目標							
歯科診療補助の総仕上げを目的とし、国試、実務において実力を発揮できる知識を身に付ける。							
■授業方法							
講義							
■教科書（書籍名・出版社）							
歯科衛生学シリーズ／歯科診療補助論 第1版 医歯薬出版 他							
■成績評価・講義上の注意							
定期試験、授業態度、出席状況により総合的に評価する							
■実務経験							
歯科医院で歯科衛生士として一般歯科、小児歯科に携わっている。実務における経験を踏まえ、リアリティのあるアドバイスができると考えている。							
■授業計画（講義の流れ）							
1	総論						
2	主要材料の種類・取扱い						
3	保存修復時の診療補助：保存修復						
4	保存修復時の診療補助：歯内療法						
5	保存修復時の診療補助：歯周治療						
6	歯科補綴治療時の診療補助						
7	口腔外科治療時の診療補助						
8	矯正歯科治療時の診療補助						
9	ライフステージに応じた診療補助 1						
10	ライフステージに応じた診療補助 2						
11	ライフステージに応じた診療補助 3						
12	エックス線写真撮影時の診療補助						
13	救急救命処置						
14	口腔機能管理						
15	定期試験、解答解説						

■科 目 臨床・臨地実習Ⅱ		■指導教員 各歯科医院の歯科医師、歯科衛生士	
■時 期 I部3学年 前期 月・火・水		■時間数 総時間 450 時間 臨実 10 単位	
<p>■一般目標（GIO）</p> <p>本実習によって、歯科衛生活動への理解をさらに深めるとともに、歯科衛生士として必要な知識・技術・態度を体得する。</p>			
■臨床実習施設 歯科診療所			
■参考図書等 臨床実習要領			
■成績評価 臨床実習評価表、臨床実習ノート、出席状況により総合的に評価する。			
■学習計画	一般目標(GIO)	行動目標(SBOs)	
<p>1 クール 4 月～5 月</p> <p>2 クール 6 月～7 月</p>	<p>臨床実習では、科学的根拠のもとに物事を的確に判断し行動できる能力を体得し、患者の口腔の健康を通して、全人的に関わりのできる医療従事者としての責任を担うものであることを自覚する。</p>	<p>①各診療の流れや手順を理解する</p> <p>②各診療に必要な器具・器材を準備する</p> <p>③各診療に用いられる薬剤・材料を準備する</p> <p>④各診療に用いられる薬剤を説明する</p> <p>⑤各診療の補助を実践する</p> <p>⑥清潔・不潔を区別する</p> <p>⑦スタンダードプリコーションを模倣する</p> <p>⑧抜歯後の注意を述べる</p> <p>⑨抜歯後の注意を患者に説明する</p> <p>⑩口腔内診査の記録を補助する</p> <p>⑪患者の口腔内状況を把握する</p> <p>⑫スケーリングを模倣する</p> <p>⑬歯面清掃を模倣する</p> <p>⑭フッ化物歯面塗布を模倣する</p> <p>⑮対象に応じた口腔清掃指導を模倣する</p> <p>⑯患者のメンテナンス法を理解する</p> <p>⑰患者と適切にコミュニケーションする</p> <p>⑱患者への配慮をする</p>	

<div> <div>■科 目</div> <div>総合演習</div> </div>		<div> <div>■講師名</div> <div>各科目担当講師</div> </div>	
<div> <div>I 部 3 学年</div> <div>後期</div> <div>90 コマ (1 コマ 90 分授業)</div> </div>		<div> <div>総時間 180 時間</div> <div>演習</div> </div>	
<div> <div>■学修概要</div> <div>1～3 学年で学習した各科目の知識と技術を統合し、3 年間の総まとめを行う。</div> </div>			
<div> <div>■授業目的・到達目標</div> <div>           歯科衛生士になる為に、知識の整理・統合の方法の理解を目的とし、再度知識を確認することで不足部分を補うことを目標とする。         </div> </div>			
<div> <div>■授業方法</div> <div>講義</div> </div>			
<div> <div>■教科書（書籍名・出版社）</div> <div>           基本的に 1 年生～3 年生で使用した教科書等を参考図書とする。（各科目担当講師の指示に従う）            歯科衛生士書き込み式学習ノート①～④      医師薬出版         </div> </div>			
<div> <div>■成績評価・講義上の注意</div> </div>			
<div> <div>■実務経験</div> </div>			
<div> <div>■授業計画（講義の流れ）</div> </div>			
<div> <div>10 月 1 日～</div> <div>12 月 24 日</div> </div>	<div> <div>別途記載</div> </div>		